

高等部「産業現場等における実習(後期)」

後期の実習は、9月2日(月)から13日(金)までの10日間で実施しました。1年生は校内実習に、2・3年生は個別実習にそれぞれ取り組みました。後期現場実習の様子をお知らせします。

校内実習

1年生は、前期に引き続き1日4時間作業(80分×3回)を行いました。今回も、東和電機工業様から、15,000本のボルトナットの仮組や電線の被膜はがし作業をいただきました。毎日、立ち仕事が続きましたが、見通しをもって自ら行動したり作業したりする姿が増えてきました。一方で、まだまだ消極的で教師からの言葉掛けや手助けを待ってしまったり、自分からハッキリと挨拶や報告ができなかったりする様子も見られました。来年の個別実習に向けて、この後の学校生活に取り組んでもらえればと思います。



個別実習

2年生は、2回目の実習となりました。全員が新しい事業所で実習し、経験を積み重ねました。それぞれの実習先で、初めての实習先、仕事内容でも、自分から進んで行い「素晴らしい！また来てほしい！」と何度も言われるくらいの成果を見せる生徒がいました。一方、実習先の職員の方に甘えてわがままを言う、作業中に失敗したことを自分から言い出せずに隠してしまう等、自宅で過ごすような気分になってしまい、自分の良さを出し切れずに終わってしまった生徒達もいました。

普段から自分の進路についてしっかり考え、自分の言葉で話せているかどうか、自分の夢や目標の実現に向けて、普段の授業や作業、運動、家庭での生活リズムや食生活等の改善等に、自ら地道に取り組んでいるかどうかの差がハッキリ現れたといえます。

3年生の後期実習では、すでに進路が決まり、同じ施設で3度目の実習を行う生徒や就労アセスメントを兼ねた実習に取り組む生徒がいる一方、なかなか進路が決まらない生徒もいます。進路は生徒により異なりますので、この時期からは、卒業に向けた準備や手続きなどの状況は一人一人バラバラになってきます。

進路決定の際に大切なことは、進路は本人の希望に添って決めることです。親は“決める”のではなく本人を“支えられるかどうか”を判断するということです。家から通えるのか、グループホーム利用なら経費は大丈夫か、保護者送迎なら毎日継続可能なのかな等を判断するということです。

実習では、一般就労を希望する生徒を中心に、自力で実習先に通う生徒もいます。自力通勤すると、自然災害や事故等により、列車やバスが遅れたり、自分自身が乗り遅れたりすることもあります。そういった時、自分でなんとかする力がどれくらいあるのか…、一般就労では必須となります。必要な時に、自分から尋ねる(助けを求める)力、スマホで連絡できる力、時刻表や料金表を調べる等は、生活の中で繰り返し経験し、積み重ねていく(失敗もしていく)ことで、少しずつできることが増えていくのだと思います。

個別実習にご協力いただいた事業所

実習先（福祉サービスの種類）	所在地	生徒数	主な実習内容
麺工房はばたけ（就労継続支援B型）	藤崎町	1	食品加工作業
カリフラワー（就労継続支援B型）	平川市	2	電子部品の組立、清掃、厨房 他
きりんの里（就労継続支援B型）	平川市	1	室内軽作業 他
SUNFLOWER（就労継続支援B型）	平川市	1	弁当の調理作業、室内軽作業
NEXT（就労移行支援）	弘前市	1	就労トレーニング課題、SST 他
ゆいまある（就労継続支援B型）	弘前市	1	食品加工作業 *9/2, 3
N-STAGE（就労継続支援B型）	弘前市	1	室内軽作業 他
ひかり（就労継続支援B型）	弘前市	1	タオルのチェックと重ね作業
あづまーる（就労継続支援B型）	青森市浪岡	1	パソコン解体等の軽作業 他
はるなの里（生活介護）	弘前市	1	自立課題、生活訓練 他 *9/2, 4~6
ワークキャンパス大鰐（生活介護）	大鰐町		農作業、個別課題 他 *9/30~10/11

*** 実習に取り組む生徒達の姿 ***



実習中のようすを基に、実習先には実習生の評価をしていただいています（校内実習は教員が評価）。
評価は、以下の項目について「5段階」の評価となります。以下、評価項目を紹介します。

「基本的なルール」身だしなみやルールの理解、健康管理や気持ちのコントロール 等
「社会生活」あいさつ、返事、言葉遣い、受け答え、報告・連絡、協調性、準備片付け 等
「作業態度」意欲、理解力、指示の受け方、集中の維持、習熟度、時間の区別 等
「作業遂行力」体力、正確性・確実性、巧緻性、速度、安全への意識 等
「総合評価」実習先を卒業後利用することが可能かどうかの判断

実習の評価は“成績証明書”等と同様に部外秘扱いとしています。実は、開示を前提にすると全て“とても良い！”と評価したり課題を伏せたりすることがあったためです。「開示しませんので、忌憚なく評価してください」と依頼し、良いところだけで無く、課題もしっかり把握できるようにしています。本人や保護者には、個人面談等の機会を捉えて、本人の“良かった点”や“課題”等についてポイントを整理し担任から伝え、今後の実習や進路先等決定に生かせるようにしています。